畜産試験場だより

No.19

栃木県の農地の約８割は水田です。この広大な水田に堆肥を還元することは、堆肥の流通促進や化学肥料の節減、土づくりなど、畜産・水稲ともに未来へつなぐ持続性の高い農業の実現のために、重要なテーマです。
　このため、畜産試験場では今年度から農業試験場とのプロジェクト研究に取り組んでいます。
　当場では主に堆肥の安定性に関する試験（写真上）を、農試では施用試験（写真右）などを行っています。

1. IT技術利用による人工授精事務の省力化について
2. もどし堆肥の連続利用と成分の蓄積
3. 豚の人工授精（AI）について